

## 特集

特集Ⅰ

「改訂3版P2M標準ガイドブック」刊行される

特集Ⅱ

「プログラムマネジメントの広がり」

特集Ⅲ

関西P2Mセミナー2014

特集Ⅳ

祝ジャーナル第50号（ジャーナル第1〜第49号をふりかえる）

# I N D E X

巻頭言		編集部	3
<b>特集 I</b>	「改訂 3 版 P2M 標準ガイドブック」発刊される		
1	はじめに P2M 標準ガイドブックの改訂 3 版を発刊するまで	光藤 昭男	4
2	P2M の進化：P2M 標準ガイドブック改訂 3 版が目指すもの	清水 基夫	7
3	第 2 部 プログラムマネジメント プログラムマネジメントで事業を創造する	濱 久人	9
4	第 3 部 プロジェクトマネジメント 改訂を終えて	加藤 亨	11
5	第 4 部 事業経営基盤 プログラムマネジメントと事業経営基盤	芝尾 芳昭	14
6	第 5 部 知識基盤 改訂を終えて	越島 一郎	16
7	第 6 部 人材能力基盤 人材能力基盤のポイント	宮本 文宏	19
8	「改訂 3 版 P2M 標準ガイドブック」プロジェクト	古園 豊	22
<b>特集 II</b>	プログラムマネジメントの広がり		
投稿 I	P2M をひとつづくりで活用する 「中食製造業におけるプロジェクト・プログラムの活用の取り組み」	藤澤 正則	25
投稿 II	世界への P 2 M の挑戦	田中 弘	30
投稿 III	プロジェクトにおける権限と責任について一考察	高木 浩之	37
報告 I	「ビジネス・イノベーション SIG 報告」 ビジネス・イノベーションを成功させるプロセスと実践スキル	佐藤 義男	41
報告 II	GAPPS (Global Alliance for Project Performance Standards) ワークセッション (WS) 31 の開催報告	石倉 政幸	50
<b>特集 III</b>	関西 P2M セミナー 2014		
主催者挨拶	全体概要	林 健太郎	54
基調講演	スマートコミュニティの構築に向けて	中村 秀樹	55
招待講演	スマートコミュニティの学術的取り組みと課題	石亀 篤司	57
招待講演	大阪ビジネスパーク (OBP) から発信するスマートコミュニティ	堀 俊明	59
<b>特集 IV</b>	祝ジャーナル第 50 号 (ジャーナル第 1～第 49 号をふりかえる)		
はじめに		編集部	61
初代編集長	I JPMF ジャーナル創刊号 (1999 年 2 月) ～第 14 号 (2002 年 8 月)	小林 允	62
第 2 代編集長	II ジャーナル第 15 号 (2002 年 12 月) ～第 34 号 (2009 年 4 月)	渡辺 貢成	66
第 3 代編集長	III PMAJ ジャーナル第 35 号 (2009 年 8 月) ～第 49 号 (2014 年 4 月)	岩下 幸功	69
PMAJ 便り	「会員活動」「PMAJ Networking (会員交流会)」「PMR クラブ」「P2M クラブ」	岩下 幸功	75
広告			
編集後記		編集部	

註) 改訂 3 版 P2M 標準ガイドブックから P2M の名称が「プログラム&プロジェクトマネジメント」へ変更となっておりますが、寄稿いただいた旧版に基づく文面「プロジェクト&プログラムマネジメント」は執筆者の原稿通りとしております。

## 巻頭言

編集部

ジャーナル第 50 号をお届けいたします。

今号の特集は、特集I:「改訂 3 版 P2M 標準ガイドブック」発刊される、特集II:「プログラムマネジメントの広がり」、特集III:「関西 P2M セミナー 2014」、特集IV:「祝ジャーナル第 50 号 (ジャーナル第 1～第 49 号をふりかえる)」となっています。

特集I:「改訂 3 版 P2M 標準ガイドブック」発刊される

日本発の「プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック」(P2M) は、初版発行から 13 年を経て、新たに改訂 3 版「プログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック」として 2014 年 4 月 30 日に刊行されました。PMAJ ジャーナル第 49 号 PMAJ 便りで刊行のお知らせを致しましたが、この改訂に携わった P2M 改訂委員会の主要メンバーの方々に改訂にあたっての留意点や感想を寄稿していただきました。

特集II:「プログラムマネジメントの広がり」

改訂 3 版 P2M の刊行に合わせて、プログラムマネジメントに関する実践、グローバルな展開、考察を投稿・報告して頂きました。下記 6 名の方々に寄稿いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

投稿I P2M をひとつづくりで活用する 中食製造業におけるプロジェクト・プログラムの活用の取り組み  
藤澤 正則

投稿II 世界への P2M の挑戦  
田中 弘

投稿III プロジェクトにおける権限と責任について一考察  
高木 浩之

報告 I ビジネス・イノベーション SIG 報告 「ビジネス・イノベーションを成功させるプロセスと実践スキル」  
佐藤 義男

報告 II GAPPS (Global Alliance for Project Performance Standards) ワークセッション (WS) 31 の開催報告  
石倉 政幸  
(敬称略)

特集III:「関西 P2M セミナー 2014」

「関西P2Mセミナー 2014」が 2014 年 4 月 19 日に開催されました。主催者側も含め、約 80 名が参加されました。今回のテーマは「スマートコミュニティへの取り組み」、昨年引き続き産学官連携のスタイルを継続し、3 名の講師から講演いただきました。その概要を報告します。

特集IV:「祝ジャーナル第 50 号 (ジャーナル第 1～第 49 号をふりかえる)」

前身の JPMF (Japan Project Management Forum) が 1998 年に設立され機関紙として翌年に JPMF ジャーナルが創刊されました。PMAJ ジャーナルに変わり早くも創刊から 15 年が経過しました。この間で PMAJ ジャーナル第 49 号まで 3 人の編集長が発行を担当してきました。今回、第 50 号の発行を祝して歴代の編集長にそれぞれの時代を振り返り、思いを語っていただくことにしました。